



B 75天 (2級・3級) 成績表

予選

1	3	0	2	2	1	1	3	2	計	勝		
0	0	X	X	0	X	X	0	0	三回戦	対局者		
石	不	若	秀	中	山	岡	小	田	二回戦	対局者		
X	0	X	0	X	X	0	0	0	一回戦	対局者		
小	守	山	中	岡	小	若	不	X	一回戦	対局者		
田	藤	崎	島	植	田	久	久	久	一回戦	対局者		
X	0	X	0	0	X	0	X	X	一回戦	対局者		
小	若	岡	石	不	中	小	守	山	一回戦	対局者		
植	田	久	久	久	久	久	久	久	一回戦	対局者		
12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.
若	小	石	岡	中	島	久	久	久	久	久	久	久
田	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久
倫	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久
典	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久	久
3	2	2	3	2	3	3	2	2	3	2	2	3

優勝

未勝戦

岡

若島

三位決定戦

才三位

小植

中島	正男	2
小植	久幸	2

秀島	昭次	2
中島	正男	2
岡	美実	3
小植	久幸	2

若島	昭次	2
中島	正男	2
岡	美実	3
小植	久幸	2

未勝戦

優勝

守田

三位決定戦

才三位

植田

植田	昌之	初
安藤	義一	初

安田	実	初
植田	昌之	初
守田	義一	初
横谷	義一	初

(2)

C 75天 (初級・準初級) 成績表

予選

2	2	0	0	1	1	1	2	2	1	3	2	3	計	勝	
X	0	X		X	X	X	0	X	0	0	0	0	三回戦	対局者	
植	若	石	若	守	若	守	二	横	植	小	不	0	二回戦	対局者	
田	田	田	若	藤	藤	若	見	谷	松	植	0	0	一回戦	対局者	
0	X	X	X	X	0	X	0	0	0	X	0	0	一回戦	対局者	
宮	後	藤	谷	吹	田	松	橋	日	不	藤	松	田	一回戦	対局者	
崎	藤	谷	吹	田	松	橋	日	不	藤	松	田	一回戦	対局者		
0	0	X	X	0	X	0	X	0	X	0	X	0	一回戦	対局者	
若	植	守	若	若	吹	見	若	小	守	横	石	植	一回戦	対局者	
植	植	田	若	吹	見	若	若	植	松	谷	田	田	一回戦	対局者	
15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	NO.
若	守	植	若	若	吹	見	若	小	守	横	石	植	若	若	若
橋	日	松	松	田	吹	見	若	植	松	谷	田	田	若	若	若
一	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初
初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初



オケ回ボクシングの在の啓蒙団基田井大会

日 時 平成10年5月24日 午前9時  
 会場 由井市民センター (片倉町702-1, 電35-8028)  
 主催 由井寿同基同好会 (会長 奥山和美, 小沢町809-1, 電26-3618)  
 共催 台町寿同基同好会 (会長 三上清宏, 台町2-24-130, 電25-9529)  
 後援 八重子の基田果し老人連合 (寿栄連)  
 参加資格 八重子市, 八重子市教育委員会, 日本棋院  
 年の由井華務所管内及び, 台町, 緑町, 正保町, 敬町1丁目,  
 追分町, 大木町, 小町町, 平安町, 百町に在住している60才以上,  
 10級以上の囲碁愛好者。  
 参加費 700円 (分年代金含む)  
 特別賞 5クラス別に入賞者(3位まで)を決定し, 賞状を授与する。  
 特別賞 成績により下流大会に推薦する。  
 競技後 8月30日開催の八重子大会  
 下記の通り)

Aクラス(4級以上)成績表 予選

	0	1	2	2	3	1	1	計	勝
奥山	X	X	0	0	0	X	X	6	三回戦
高山	X	0	X	X	0	0	X	6	二回戦
中島	X	0	X	0	X	0	0	4	一回戦
片倉	X	0	X	0	X	0	0	4	一回戦
中島	0	1	0	0	0	0	0	1	予選
奥山	0	0	1	0	0	0	0	1	予選
高山	0	0	0	1	0	0	0	1	予選
中島	0	0	0	0	1	0	0	1	予選
片倉	0	0	0	0	0	1	0	1	予選
9	7	6	5	4	3	2	1	NQ	参加者
片倉	奥山	中島	奥山	城	高山	奥山	三上	北村	氏
片倉	奥山	中島	奥山	城	高山	奥山	三上	北村	氏
片倉	奥山	中島	奥山	城	高山	奥山	三上	北村	氏
4	5	5	6	7	6	7	6	6	級

(4)

Bクラス(2級・3級)成績表

平選

2	2	3	1	1	2	1	3	0	2	計	勝
(5)	0	0	X	X	X	0	(5)	X	0	勝	三回戦
不	佐	中	水	種	松	倉	不	福	守	対局者	
載	藤	村	治	谷	島	田	載	島	谷	氏	
X	0	0	0	(5)	(5)	X	0	X	X	対局者	二回戦
松	福	福	倉	不	不	水	植	佐	石	氏	
島	島	田	日	不	不	治	谷	藤	川	氏	
0	X	0	X	X	0	X	0	X	0	勝	一回戦
水	福	佐	松	中	守	石	福	植	倉	氏	
治	田	藤	島	村	倉	川	島	谷	田	氏	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	参加者
福	水	松	佐	安	中	福	石	倉	植	氏	
田	治	島	藤	倉	村	島	川	田	谷	氏	
香	兼	靖	文	哲	哲	澤	政	昌	司	氏	
3	2	3	1	2	3	1	1	1	2	氏	

優勝  
決勝戦

福田

準優勝  
松島

三位決定戦

才三位  
水治

福田  
松島

石川	水治
哲	兼初
2	2

石川	福田	水治	松島
哲	香	兼初	清雄
2	3	2	3

Cクラス(初級・2級)成績表

平選

1	3	1	2	1	2	2	2	1	3	0	計	勝
X	0	0	0	X	0	0	X	X	(5)	X	勝	三回戦
榎	川	松	吉	深	吉	島	雨	長	不	中	氏	
井	崎	本	田	沢	川	山	岩	原	載	神	氏	
X	0	X	0	X	(5)	X	0	0	0	X	勝	二回戦
川	島	長	中	雨	不	窪	古	松	深	吉	氏	
崎	山	原	野	窪	載	田	川	本	沢	田	氏	
(5)	0	X	X	0	X	0	0	X	0	X	勝	一回戦
不	中	雨	島	長	深	深	吉	川	松	窪	氏	
載	野	窪	山	原	沢	井	田	崎	本	田	氏	
11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	参加者
吉	雨	中	長	島	深	深	川	吉	窪	松	氏	
川	岩	野	原	山	井	沢	崎	田	田	本	氏	
中	三	男	貞	修	英	辰	葉	友	政	清	氏	
1	初	初	初	初	初	初	初	初	初	初	氏	

優勝  
決勝戦

雨宮

準優勝  
深井

三位決定戦

才三位  
川崎

雨宮  
深井

窪田	川崎
政治	兼初
1	1

窪田	雨宮	深井	川崎
政治	三男	英一	兼初
初	初	初	初

(5)

D.E 757 (2級~10級) 成績表

予選

優勝  
未勝利

岸本

野勝

岸本

野口

才三位  
松本

三位決定戦

松本 利雄  
一 三

岸本 利雄  
三 三  
野口 久  
三 三

0	1	2	1	1	2	2	3	計	級
X	X	X	0	X	0	0	0	勝	三回戦
八木下	坂本	岸本	平良	野口	嶋村	酒井	松本	勝	三回戦
X	0	0	X	X	X	0	0	勝	二回戦
酒井	平良	嶋村	坂本	松本	岸本	八木下	野口	勝	二回戦
X	X	0	X	0	0	X	0	勝	一回戦
井上	松本	種井	嶋村	八木下	坂本	野口	岸本	勝	一回戦
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
谷津	平良	酒井	松本	八木下	嶋村	野口	坂本	中川	岸本
義一	速夫	晴永	清一	仙吉	敬次	勝利	久雄	誠	哲
4	"	"	3	4	5	"	"	3	級
4	号							号	

才9回団体対抗戦参加者(5回戦6月21日)

級	氏名	級	氏名	級	氏名	級	氏名
茨川		元王子		大和田		由木	
6	7 栗田誠次	6	6 山下則文	6	6 亀谷孝治	6	6 鈴木民平
5	4 藤田宏美	5	5 石原正敏	5	4 豊田弘伯	5	5 松浦辰夫
4	4 井上 明	4	4 清水 一郎	4	4 牧野常男	4	4 白石修男
3	3 橋場政明	3	3 山崎 敏	3	3 安藤久雄	3	2 嶋根 昭
2	2 相川 彰	2	2 橋本 一	2	初 後藤徳夫	2	初 藤村哲郎
初	初 富井 栄	初	2 栗辺 保幸	初	初 平藤 義一	初	初 藤野 保
中野		北野		長原		由井	
6	6 野口 博	6	6 山本徳美	6	6 小川 勇	6	6 三上清志
5	5 中田 勤	5	6 早川 葵	5	5 佐藤 幸吉	5	5 豊田 高康
4	4 磯部 信広	4	4 中村康夫	4	4 松井 豊	4	4 藤田 喬
3	2 鈴木 茂	3	3 山本 林	3	3 岡戸 一郎	3	3 松島 清雄
2	2 市瀬 隆	2	2 山本三母	2	2 石川 哲	2	2 倉田政裕
初	初 中川俊彦	初	初 平田 弘一	初	初 谷藤 登	初	初 立川 中

茨上下24-6対戦。上級水主催4-6。  
(6)

参議院議長  
菅藤十朗 殿

八月八日  
八重子 老人連合  
会  
崎正 (蔵)

囲碁文化振興議員連盟会長としての御立場で  
御力添えを頂いたとの主旨による陳情の件

拝啓 早速ながら失礼します。

公務御繁忙中に、このような雑事に関する御申し入れを行い、誠に申し訳ない  
ことには存じておりますが、先生の御立場でなくては御決出来ない下記の問題  
について、格別な御高配を賜り、是非共御協力下さいませ方の御願い申し上げます。

記

1. 元木田坊岩本薫先生に「ハール賞」を囲碁文化振興議員連盟会長名を  
以て御申請下さいませ方の御願い申し上げます。

但し、本件については、岩本先生の御了解を得ております。

小生の独断独行で方から予め御念み置を下さい。

さて、岩本先生は、別添添付資料「『薫和随想』日本棋院との70年』を  
御覧頂ければ御判りになりませが、プロ棋士として囲碁に才を生かしている  
関係上、無意識ながら「囲碁は勝負事」との観念が強かつたようで。所が、  
或時機(昭和40年頃)に、「囲碁は勝負事」で先ずながら娯楽と捉えらる  
ものではなく「高尚な知的競技」であるとの認識を深め、「囲碁の持つてい  
る無限な楽しさと濃しい雰囲気」を、世界中の誰れもが味わう事が出来る  
ような平和な環境を整備したいと夢見されるようで。

即ち、政界、財界、マスコミ等の御協力を得て、囲碁の正しい格付けとして、  
「芸術性豊かな囲碁は日本の伝統的文化」であると宣言し、世界各国に自ら  
如何に普及活動を行うとの画期的な新画の策施に踏切られた。

爾来、30余年間を経過した平成7年9月19日 ニューヨーク囲碁センター(別添、岩本  
囲碁会館)がオープンした。

(別添添付資料2号、此米に囲碁会館オープン、「岩本9段の理念が異なる」御参照)

其の間、日本棋院分館の施設等が世界各国に設立され、本格的な普及活動  
が遂行されており、昨年より10回アムステルダム囲碁世界選手権戦が行われ、更に、  
日本棋院では、囲碁をオリンピックに登場させるべく昨年6月9日に発起人総会を  
開催することになっている。

(別添添付資料3号、オリンピック運動の1年、「6月9日に発起人総会」を御参照)

其に、囲碁の国際化は順調に進展万ものご期待されております。

然るながら、欧米諸国では、伝統的な「チェス」が盛んでオリンピックにも登場  
しますが、最近では、囲碁の楽しさ、徹底が理解され「チェス」の人気を凌駕  
する勢いで普及しており、「世界の囲碁」として期待されるのも遅くはないよ  
うです。

(7)

以上の如く、岩本先生が先駆者として世界平和のために貢献された功績は、  
被疑者もがあり、「ノーベル平和賞」の該当者としては最高の評価を受ける  
ものとする確信しております。

尚、1989年若本先生に文化勲章を授与（別添添付オキ4号の基栄連ニュース  
オキ2号即参照）

日本棋院のBの方に棋院の歴史向を伺って頂きたいが、既に、坂田栄男名誉本  
団体が文化功労章を授与されており、もつかいとの事と諦めたいがオキ2号。  
追記、ノーベル平和賞の申請年続々関係書類は目録におきながら「所査収下さし」。

2. 老人囲碁愛好者による「全国の基と集した老人連合(仮称)の設立

(1)、平成5年11月26日付の日本棋院理事理事大権権介様宛で、「高齢囲碁  
愛好者のボウ禁止対策及び若の他の件に関する提案(別添添付オキ5号即参照)  
を提出しておりお方、御返事が頂けないので、普及部長さん上御伺い  
した所、「日本棋院はプロ棋士の集団であり、銀座では、又女子団体に取組を余  
裕はない」との御意見を頂いております。

(2)、平成9年2月26日付の日本棋院理事長、後田文夫様宛の「オキ2号全日本老人  
囲碁大会の開催に関する件」(別添添付オキ6号即参照)を提出した所。

3月7日付で、日本棋院副理事長 秋野 教様より御返事(別添添付オキ7号)  
を頂いておりますが、要項は次の通り

1、総団連地商工会議所に持込むのは異常である。

2、若い人が囲碁放れているのは、「囲碁は老人使い」と云う理由。

3、ボウ禁止に依ることは流れるが、ボウ禁止と云う表現は、一考、二考も要が  
二財政状態から軽文し年がつかうれない。

以上のよう御意見を頂いております。

日本棋院の御立場では、尤も至極に御意見を承っております。

然し、尚、プロと女子の立場も考へ方の違いは、已むを得ないものと存じます。

前記(1)、(2)で御報告した所、日本棋院はプロ棋士の集団であり、又、  
日本囲碁界の本質的な総本山である。

当然のことながら、世界各国との交流は、日本棋院とに最大の使命であり、

世界囲碁の盛衰は、日本棋院の双肩にかかっていると云うても過言ではない。

今後の御健康を期待しております。

(3)、囲碁の老人関係の現状について

毎年退職して囲碁愛好者で低い級位の方は、基会所へ行っても相手とされ  
ず、「老人クラブには囲碁部がない」と、基を諦めてしまった方が全国で  
100万人位はいると云われており、更に、毎年の如く発生している。

毎年退職し、余生を好きな基でも折って、気楽に暮らそうと思っていたのが、  
基を止めなくてはならない強目に違ひ込まれた方達の悲嘆の情念に対し、  
慰めの言葉など見当らない。

(別添添付オキ8号、平成9年12月6日付厚生大臣小泉純一郎殿宛の「老人福祉  
問題の改善に関する陳情の件」を即参照下さい) (8)

以上(1)~(3)のような現状下において、緊急を要する老人囲碁愛好者の問題を<sup>3</sup> 親身に存って面倒を見てほしいと専断出来る相手又は終団連以外には見当りなし。

従って、全国の囲碁愛好者の代表として、「全国の碁を楽した老人連合(仮称)」の設立を終団連に申し入れてほしいと御願い申し上げます。

3, 「全国の碁を楽した老人連合(仮称)」が設立された場合は、下記事業を早急に実施するものとする。

(1), 「お孫さんへの囲碁の年ほど道」を弾義務的に推進する。

(別途添付資料6号, 末長攝蔵外を御参照)

(2), 全国の小中学校に与りあがり「校外教育(クラブ活動)として囲碁部の開設を又若者も受け入れてほしい。(別途添付資料9号, 平成10年5月18日付, 文部大臣岡村信彦氏宛の囲碁の普及の御見解の修正と専断可能な付帯資料)

従って、囲碁部指導員に関しては、日本棋院の指導員の元々「全国の碁を楽した老人連合」の会員が社会福祉事業の一端として積極的に協力可能なところ。

(3), 全日本老人囲碁大会を早急に開催する。

構成及び実施等は別紙協議するものとする。

#### 4, 九路盤に関する件

(1), 9年5月19日週刊碁に、坂田昌泰著「碁離れ対策は九路盤の普及」として、「いろいろ考えられるが、一つは、九路盤の普及だろう。短時間で打て、奥が深いことをアピールが証明すれば、アマの人も打つようになる。プロの選手数減を止めてもいいね。」

(2), 9年10月29日週刊碁(別添添付資料11号御参照)に「GO アイデアゲーム, ジンテト」の一回, 任天堂社長「マカール フランク」として、九路盤ゲームが紹介されておりましたが、「これはフグロント「碁」ではありません」と断り書きがある。

以上二件の記事によれば、遊戯機器メーカーの任天堂は、九路盤に対し、これこそ碁ではありませんと断り書きを記している。

このことは、任天堂の担当者が囲碁に關し、勝手に「老人クラブ運営基幹で結果は異なる経費の支出を禁止しているために、」老人会に囲碁部が出来ないことを承知しているのに、九路盤を「碁」ではないと気取ってしまったのは「よからぬ」に、坂田昌泰本因坊が、「碁離れ対策は九路盤の普及」に言及されることは、余り理解は苦い「碁離れ対策」と云わざるを得ません。

現在、囲碁は「芸術性豊か日本伝統的文化」として世界中に進出している時代にも、九路盤は伝統的囲碁でしょうか、子供遊具道具としての考えられぬものを、これでは明治時代に逆戻りしたと云いようがない。

本件は、至急に対策を探らなくては、大規模な問題が発生する危険性を包含しておりますので、即ち社中懸念しております。アマアマ囲碁界の代表として早い概念と専断共御見直しを申し上げます。御願ひ申し上げます。

		北野4-6 (勝算 1.5)				磯川4-6 (勝算 1)			
勝川	6	5	4	3	2	初		勝針	
磯川	7	水谷5	中野3	石橋3	中井3	学向初		3	
磯川	5	0	0					3	
北木	4	X	0	X				1	
中野	3			0	0	0		3	
磯田	2			0	0	X		2	
林初				0	0	0		3	
計	1	0	1	0	0	1		3/5	

		長原4-6 (勝算 3.5)				元金子4-6 (勝算 1.5)			
磯川	6	5	4	3	2	初		勝針	
磯川	6	高橋6	岡村5	清水4	山田(初)3	西谷2	宇井初	2	
長原	4	0	X	X				1	
宇井	3	0	X	0				2	
磯川	3				X	0	X	1	
山崎	3				X	0	0	2	
磯田初					0	0	0	3	
計	1	2	1	2	0	1		7/11	

		大和田4-6 (勝算 0.5)			由木4-6 (勝算 4)			
由木	6	5	4	3	2	初		勝針
由木	6	荻原6	森5	竹島4	岡部4	嶋橋2	塩路初	2
大和田	4	0	X	0				2
由木	4	0	X	X				1
生	3				0	X	X	1
山崎	2				X	X	X	0
是初					X	0	X	1
計	1	2	1	2	2	2	3	11/17

		中野4-6 (勝算 1)			由井4-6 (勝算 3)			
由井	6	5	4	3	2	初		勝針
由井	6	江口7	三上6	藤田5	梅田3	倉田2	在川初	0
中野	5	0	0	0				3
由井	5	X	0	0				2
北木	2				X	0	0	2
池	2				X	X	0	1
磯田初					X	X	X	0
計	2	1	1	3	2	1		10/14